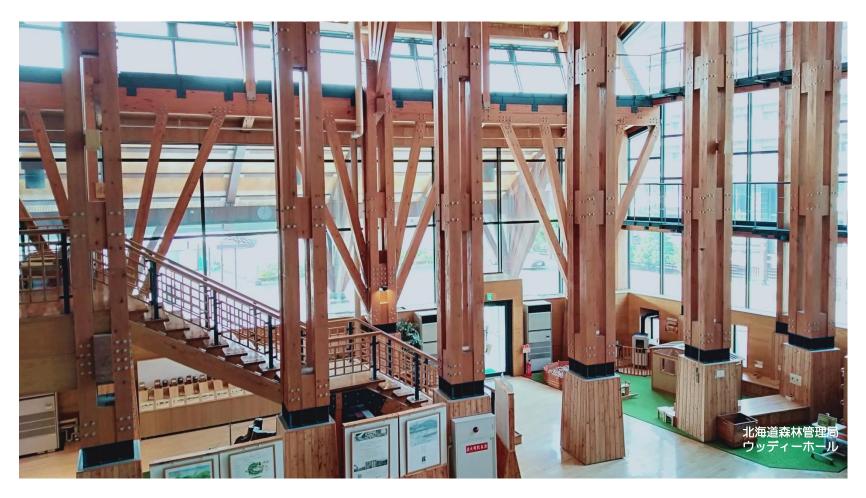
## 官庁施設等における木材利用の促進について



林野庁 北海道森林管理局

### 国内の高層建築物への木材利用

(ウッドデザイン賞受賞事例より)

### ・ウッドデザイン賞 林野庁長官賞

2023年度 **<ジューテック本社ビル>** 

東京都港区







- R5年3月竣工、鉄骨造り 一部木造
- 地上8階、地下1階、延べ床面積:約4,877㎡
- 木材使用量:約207 ㎡
- 純木質耐火集成材「FRウッド」を使用した港区初の耐火木造建築物であり、みなとモデル二酸化炭素固定認証制度における最高ランク★★★を取得。

2022年度 <Port Plus 大林組横浜研修所> 神奈川県横浜市





- R4年3月竣工、木造
- 地上11 階、地下1階、延べ床面積:約3,503 ㎡
- 木材使用量:約1,990 ㎡
- ・ 柱・梁が一体となった「剛接合仕口ユニット」を開発・採 用する等により、11 階建て純木造の耐火建築物を実 現。

## 公共建築物への木材利用

#### • HOKKAIDO WOOD BUILDING登録事例

2024年度登録

< 北海道森林管理局 森林技術・支援センター(※) 新庁舎>







- R6年2月竣工、木造
- 地上1階、延べ床面積:約357㎡
- 木材使用量:約107 ㎡(うち道産木材約67㎡、道産材比率約63%)
- 新庁舎は道産木材製品を使用した建築物を登録し、道民に道産木材製品の魅力を広く発信し、認知度の向上を図るとともに、建築物の木造化、木質化を推進することで道産木材製品の利用拡大に資することを目的とした「HOKKAIDO WOO DBUILDING」に登録されています。
- (※) この建物は上川北部森林管理署士別森林事務所との合同庁舎となっています。







○ 森林を伐採すると森林内での炭素の固定量は減少

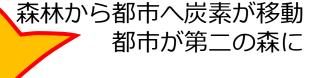


CO2排出?

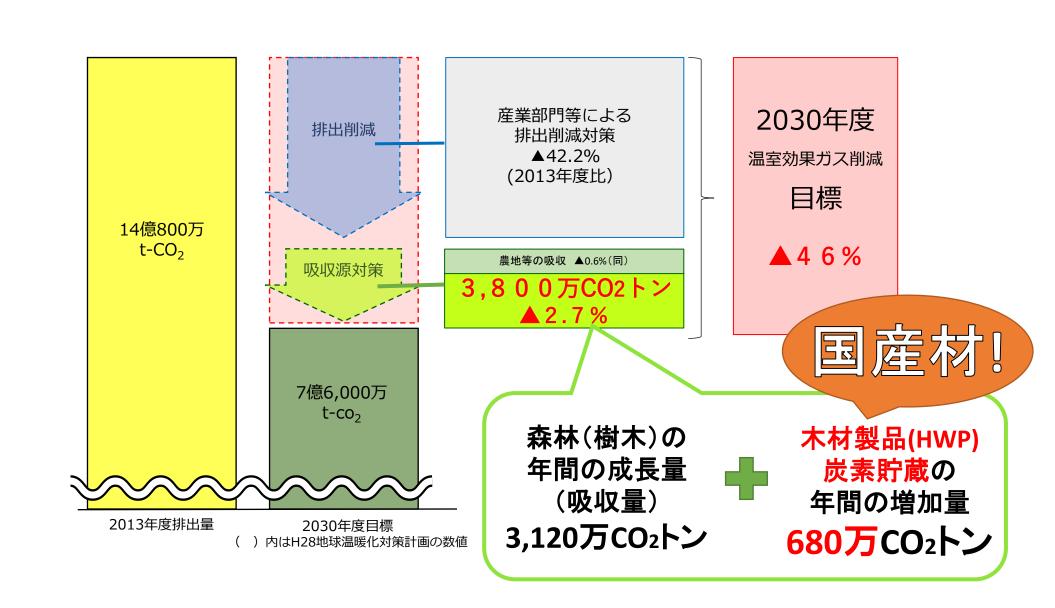
○ 木材の中には炭素は引き続き固定

炭素!

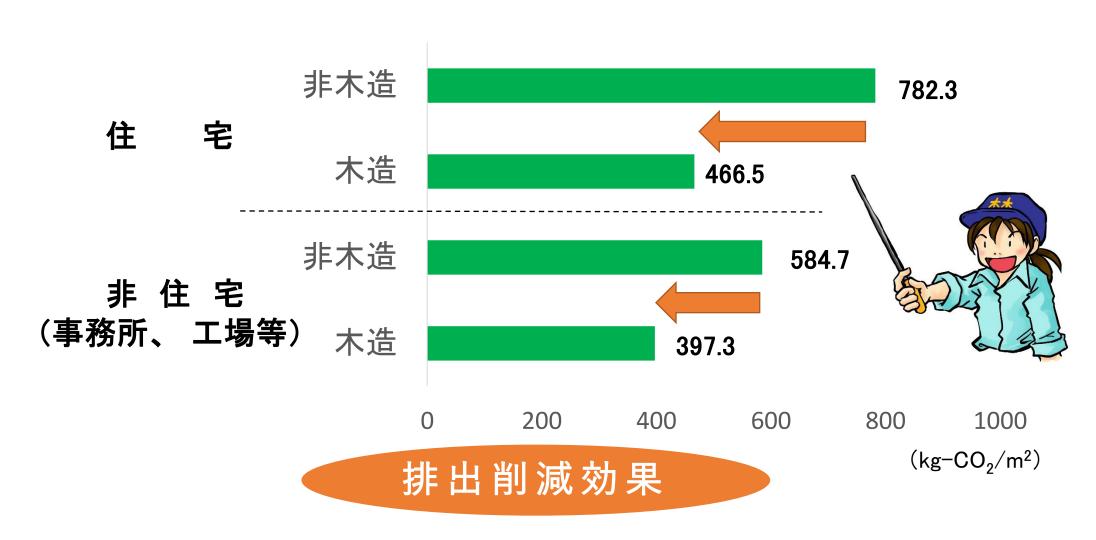




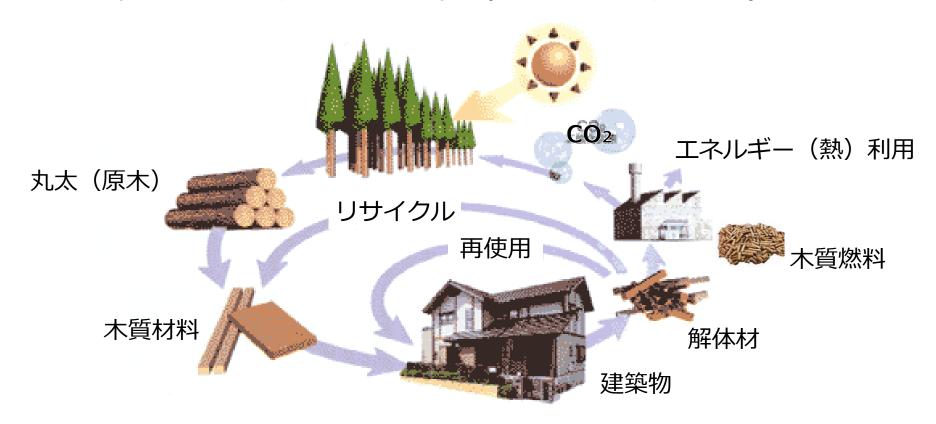




### 【建築物の床面積当たりCO2排出量の試算】



- ・ 建築材料の再使用(古民家の再生・移転・柱や梁の再使用)
- ・木質ボード等としてリサイクル(小片・繊維化した木材を再構築)
- 燃料として熱エネルギーを回収 (バイオマスエネルギー)





# 森林には吸収源以外の役割もある。

土砂災害防止 土壌保全



水源涵養



保健 レクリエーション



生物多様性保全



快適環境形成



文化・景観



役割によって木の使い方が変わる。

# すなわち

伐採してよい木(伐採した方がよい木)

2

伐採してはいけない木がある。



中大規模木造公共建築物事例集(林野庁:令和4年10月公表)より、当麻町役場

#### く資料>

・木材・木造建築物関係のハンドブック



・建築物の木造化・木質化事例、参考資料



・建築物の木造化・木質化に活用可能な補助事業・制度等一覧



<お問い合わせ> 木材利用促進本部事務局

「建築物の木造化・木質化支援事業コンシェルジュ」





# 北海道森林管理局



